

デンタルタイムズ

第24号

編集者

麻生京子



世界一の...

虫歯予防デーが
間近に迫った

5月31日、再び

「おでん様御一行」が

若松にやってきました。

んっ？ おでん・・・？？？

デンタルタイムズの継続読者

ならご存知ですよね！

そうですね。スウェーデン

のオデインさんです。

Hi
Ohisashi
Buridesu



そして一緒に来て
くださったのは

(新聞12号参照)



なんと、スウェーデン

歯科衛生士会会長の

イボンヌさんです。

彼女は、ヨーロッパ

歯科衛生士会会長も

兼任し、名実ともに

予防歯科業会では、世界ナン

バーワンの人物なのです！

私達衛生士から見れば、三郷

市役所にオバマ大統領が来る

のと同じぐらいの出来事で、

まさにお祭り騒ぎだったのは

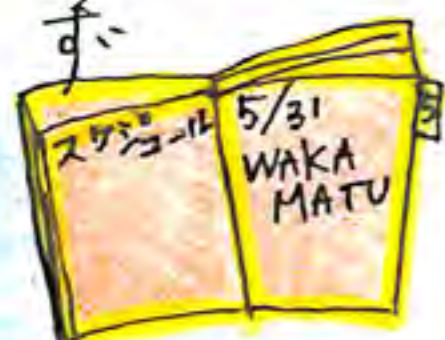
言うまでもありません。

しかも、来日直前まで

彼女のスケジュール

には、若松歯科の

視察が入っておらず



前日の夜は、それなりに年を

重ねてきた私ですら寝付け

なくて、ドキドキでした。

埼玉の端っこにある

小さな医院でも

本人が楽しみに

しているとのこと

正直、期待にこたえ

られるか、不安で

いっぱいでした。

(事実若松は、予防歯科

先進国のスウェーデンで

ちよっと有名らしいのです。)

おでん様御一行は、午前中

に衛生士の植竹・東雲と小島

先生が毎年行っている理科の



立花小



実験授業を立花小で
視察し、(テレビや
新聞も来たらしい)
その後、先生の
自宅でワイワイと
昼食会となりました。

イボンヌさんの

第一印象は、青い瞳に
ブロンドヘアの
まさに北欧美人!
とっても笑顔の
素敵なお方でした。



日本の歯科衛生士会の
会長と聞くと偉そうで怖い感
じ(スミマセン、私の勝手な
イメージですよ)ですが、
とても気さくな方でした。

食事中、世界一の人間との

フリートークにテンション

あがりっぱなしでしたが、

実は出された料理も

すごかったんです。



テレビで松戸の飲食店

2位の和食創作料理店

「一と九」の大将が

来てくれて、

いまままで食べた

ことがない

オリジナル料理が

次々と出てきて

「チヨク幸せ」状態。

(ここだけの秘密ですけど

「一と九」は私達の作戦

会議場の一つなのです。



実は、皆さんへの

説明用ツールを

作ると大将に見せて

意見を聞いたり

しているのです。

料理と歯科の

発明家同士で

大将と先生は

気が合うらしく、

逆に新作料理の寸評を

先生がしたりしています。

最後は、そんな大将の

粋な計らいでお寿司を

握れることになって、

イボンヌは自分の

役職を忘れて

超ハッスル!

モグモグ



作ると大将に見せて

意見を聞いたり

しているのです。

料理と歯科の

発明家同士で

大将と先生は

気が合うらしく、

逆に新作料理の寸評を

先生がしたりしています。

最後は、そんな大将の

粋な計らいでお寿司を

握れることになって、

イボンヌは自分の

役職を忘れて

超ハッスル!



たのしいです!!

オリジナル

午後、若松の衛生士の仕事を視察するときになるとニコニコしていた二人は

急に真剣な眼差しになり身を乗り出して見学しながら

『エクセレント！』を連発していました。

『予防の原点は、教育！』

『予防の原点は、教育！』

という点で、意見が一致しているようで楽しそうに仲良く話をしていました。

中でも、パソコンを使った若松オリジナルの内容は、大絶賛で

『さすが発明家！』と



褒められて、先生はうれしそうでした。

こういう場面を見ると、やはり若松のシステムは、

予防大国スウェーデンにも引けを取らないどころか、

歯科オリンピックが、もしもあつたら、

予防という種目で金メダルをゲット

できるはず！

と勝手に妄想すると同時に、

自分達がやっていることに誇りと自信を感じました。

(ちよっと自画自賛)



スウェーデンでは衛生士が

クリーニングのための医院を

開設できるらしいのですが

話しを聞くと、

とても大変らしく

多くの衛生士は

私と同じように

歯科医院に勤務

しているとのことでした。

私事ですが、実は

若松だけでなく、

コンピュータ会社の

IBMの歯科室でも

働いています。世間では

一流企業と呼ばれていますが、

『歯石を取るの痛から

イヤ！』という社員が

IBM



結構いたりします。口の中の健康が

そんな時は、健康寿命が

若松で皆さんにお話している

内容を思い出しながら

クリーニングの大切さを伝えて

います。若松に定期的に

通ってきたださっている

方は、多分クリーニングは

気持ちいいものと認識されて

いると同時に、私たちが

作っているお話しに興味を持って

下さっていると

思います。

院長先生は

エステみたいなの

作っている

興味を持って

下さっていると



いつも『口腔内の健康が維持できれば、健康寿命が延びる』と言っています。

健康寿命とは、大きな病気や痴呆にならずに元気でいられる年齢です。

確かに、若松に長い間クリーニングに来ている方は、ハツラツとしています。

若松の患者さんはたぶん耳にタコができるくらいブラッシング指導を受けていると

思います。

元気が!!

はーさんや... わしの入れ歯も...

元気!!

元気!!



これは幸せな事なんですよ! 『うるさいなあ』と思わないでくださいいね!』

そう言えは

不意にイボンヌが私に

「衛生士を楽しんでる?」と聞いてきました。

私の答えは当然『YES!!』

「クリーニングは嫌い!」

と言われても、患者さんの人生をハッピーに出来るならばを鬼?にして

口腔ケアの大切さを

これからも伝えていきますね。

(文リ麻生 絵リ植竹)

